



し き たん じょう ち あと 子 規 誕 生 地 跡 Birthplace of Shiki Masaoka

この物語の主人公は、あるいはこの時代の小さな日本ということになるかもしれないが、ともかくもわれわれは三人の人物のあとを追わねばならない。そのうちのひとり、俳人になった。俳句、短歌といった日本のふるい短詩型に新風を入れてその中興の祖になった正岡子規である。

司馬遼太郎著『坂の上の雲』（文藝春秋刊）単行本：1巻より

近代文学史上大きな足跡を残した正岡子規は、慶応3（1867）年9月17日、この地に生まれ、東京根岸で35年の生涯を閉じた。子規の本名は常規であるが、近親者は生涯を通じて「のぼさん」と呼んだ。

生家は、東西の道路の南側にオロ垣（竹の枯れ枝）を結び、垣の内にサンゴ樹の並んだ家であったという。

Shiki Masaoka, who left a major mark on modern literature, was born on this site on September 17, 1867, and his 35-year life ended in Negishi, Tokyo. Shiki's real name was Tsunenori, but throughout his life his friends called him "Nobo-san".

His birthplace is said to have been a house on the south side of an east-west road, with honeysuckle trees within a bamboo brush fence.

『坂の上の雲』のまちコース
俳句の里 城下コース

①番
④⑩番

Saka no Ue no Kumo course

The Hometown of Haiku : Castle town course

No. 1

No.40